



野生メダカは、各地の水系ごとに遺伝子的に違いがあることが知られており、それらを護ることは国としても非常に重要と考えています。

それぞれの地域のメダカのあるべき姿を残していくために、各地で地域のメダカを育てています。それらの地域のメダカは、どこも川に放せる状況ではありません。川にはすでに販売されているメダカが放され、もともといた地域のメダカと繁殖したために護るべき地域固有のメダカがいなくなっていました。

藤沢メダカをはじめこうした地域のメダカは育てても「売ったり、放したりはしないように」と言うことを学んでから飼うようにしています。

それはいろいろな意味で 未来に良い自然環境を残すことに 問題になることが多いからです。

家で飼うのをいやになって川や池に放す人が 多いのです。

放された藤沢メダカは、交雑し藤沢メダカではなくなります。

また川に放すともともとあった生態系をこわすことになります。

生きものは食べたり食べられたりの関係を

長い 長い 時間の中で作ってきました。

そしてその環境にいる生き物の種類や数のバランスを保っているのです。